

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分
 【発行日】令和 2 年 1 月 16 日 (2020.1.16)

【公表番号】特表 2019-509384 (P2019-509384A)
 【公表日】平成 31 年 4 月 4 日 (2019.4.4)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-013
 【出願番号】特願 2018-548068 (P2018-548068)
 【国際特許分類】

C 0 8 L 23/20 (2006.01)

C 0 8 L 23/04 (2006.01)

B 6 5 D 53/00 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 L 23/20

C 0 8 L 23/04

B 6 5 D 53/00

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 1 年 11 月 26 日 (2019.11.26)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

A) 12 モル % から 18 モル % の共重合エチレン含量を有し、ショア A 値が 80 ~ 40 であり、第 2 の加熱スキャンにて DSC で検出可能な溶融ピークを有さない、ブテン - 1 とエチレンとの共重合体 65 重量 % ~ 82 重量 %、及び

B) 23 で ISO 1183 に従って測定された、0.914 g / cm³ ~ 0.935 g / cm³ の密度を有する LDPE エチレン重合体 18 重量 % ~ 35 重量 % を含み、

ここで、A) と B) の量は、A) + B) の総量を基準とし、かつ DSC の第 2 加熱スキャンは、分当り 10 の加熱速度で行われる、ポリオレフィン組成物。

【請求項 2】

0.5 ~ 8 g / 10 分の MIE を有し、MIE が ISO 1133 に従って決定された、2.16 kg の荷重下で 190 でメルトフローレートである、請求項 1 に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項 3】

第 2 加熱スキャンにて DSC によって測定された 7 J / g ~ 35 J / g の H_{fus} を有し、前記第 2 加熱スキャンが分当り 10 の加熱速度で行われる、請求項 1 または請求項 2 に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項 4】

前記ブテン - 1 共重合体成分 A) は、下記の付加的な特徴、すなわち、

- 0.5 g / 10 分 ~ 3 g / 10 分の MIE ;
- ショア D 値が 20 以下 ;
- Mw / Mn 値 (ここで、Mw は、重量平均モル質量であり、Mn は数平均モル質量であり、両方は GPC によって測定される) が 3 以下 ;
- 23 (ISO 2285) の 100 % 変形で 30 % 未満の引張永久歪み ;
- 80 % 超過のアイソタクチックペンタド形態のブテン - 1 単位のパーセント (mmmm %) ;

- I S O 5 2 7 によって測定された 3 M P a ~ 2 0 M P a の引張破断応力；
- I S O 5 2 7 によって測定された 5 5 0 % ~ 1 0 0 0 % の引張破断伸度；
- 固有粘度 (I . V .) が 1 d l / g 以上であり；
- X - 線によって測定された 3 0 % 未満の結晶化度；
- 0 . 8 9 5 g / c m ³ 以下の密度；
- 0 で 1 5 重量 % 未満のキシレン不溶性分画の含量、

のうち少なくとも一つを有する、請求項 1 に記載のポリオレフィン組成物。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 請求項 4 のいずれか 1 項に記載のポリオレフィン組成物を含む成形品。

【請求項 6】

ガasketの形態である、請求項 5 に記載の成形品。

【請求項 7】

請求項 6 に記載の成形品を含む、ツイストクロージャ。

【請求項 8】

食品容器で使用される、請求項 7 に記載のツイストクロージャ。

【請求項 9】

プレスオン / ツイストオフキャップの形態である、請求項 7 又は請求項 8 に記載のツイストクロージャ。

【請求項 10】

a) 溶融状態のポリオレフィン組成物をクロージャの内部表面上に配置する段階；及び

b) 前記配置されたポリオレフィン組成物を形成する段階、を含む

請求項 6 に記載の成形品を製造する方法。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 2 1

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 2 1】

0 (X S - 0) でキシレン中に可溶性及び不溶性の分画

2 . 5 g の重合体サンプルを攪拌下に 1 3 5 で 2 5 0 m L のキシレンに溶解させた。3 0 分後、溶液は依然として攪拌下で 1 0 0 まで冷却するようにした後、水及び氷バスに入れて 0 まで冷却する。次に、溶液を水及び氷バスで 1 時間沈降させる。沈殿物を濾紙で濾過した。濾過する間、フラスコは、フラスコの内部温度を可能な限り 0 付近を維持するように水と氷バスに放置した。濾過が完了すると、濾過液の温度を 2 5 で均衡とさせ、容量フラスコを水洗バスに約 3 0 分間沈漬した後、二つの 5 0 m L の一定分量で分割する。溶液の一定分量を窒素の流れ中で蒸発させ、残留物を一定の重量に到達するまで 8 0 にて真空下で乾燥した。二つの残留物間の重量差は、3 % 未満でなければならないし；そうでなければ、試験を繰り返す必要がある。従って、残留物の平均重量から重合体の可溶性 (0 のキシレン可溶性 = X S 0) の重量 % を計算する。0 で 0 - キシレン不溶性分画 (0 でキシレン不溶性分 X I % 0) は以下のとおりである：

$$X I \% 0 = 1 0 0 - X S \% 0$$

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 2

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 2】

実施例 1 及び比較例 1

実施例で使用した材料

P P B - 1: W O 2 0 0 9 / 0 0 0 6 3 7 に記載された工程によって製造された、1 6

モル%の共重合エチレンを含有するブテン - 1 / エチレン共重合体に、7 重量%の量のプロピレン共重合体組成物 (I) (ブテン - 1 / エチレン共重合体とプロピレン共重合体組成物 (I) との総重量に対して) がインラインブレンドされた材料。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 1 3 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 1 3 3】

上記のプロピレン共重合体組成物 (I) は、5 . 5 g / 1 0 分の M F R L、3 重量%の総共重合エチレンの含量、6 重量%の総共重合ブテン - 1 の含量、2 5 におけるキシレン中に可溶性の分画 (X S - 2 5) 1 9 重量%、及び 1 3 3 の T m を有し、次の二つの成分からなる：

I ') 3 5 重量%の、プロピレンとエチレン (共重合体中に 3 . 2 重量%) の共重合体、及び

I ") 6 5 重量%の、プロピレン、エチレン (共重合体中に 3 . 2 重量%)、及びブテン - 1 (共重合体中に 6 重量%) の共重合体；

ここで、I ') 及び I ") の量は、I ') + I ") の総重量を基準とする；

L D P E : L y o n d e l l B a s e l l によって販売されている 0 . 9 2 8 g / c m 3 の密度及び 4 g / 1 0 分の M I E を有する低密度ポリエチレン単独重合体 L u p o l e n 3 0 2 0 ；

安定化剤：0 . 0 5 重量%のペンタエリトリールテトラキス (3 - (3 , 5 - ジ - t e r t - ブチル - 4 - ヒドロキシフェニル) プロピオネート (I r g a n o x (登録商標) 1 0 1 0、B A S F によって販売される) 及び 0 . 0 5 重量%のトリス (2 , 4 - ジ - t e r t - ブチルフェニル) フォスフェイト (I r a g a f o s (登録商標) 1 6 8、B A S F によって販売される) のブレンド、前記パーセント量は、ポリオレフィン組成物の総重量を基準とする；

潤滑剤：1 重量%のエルカミド (e r u c a m i d e) (C r o d a m i d e (登録商標) E R、C r o d a によって販売される)、1 重量%のオレアミド (O l e a m i d e) (C r o d a m i d e (登録商標) O R、C r o d a によって販売される) 及び 1 重量%のステアリン酸グリセリル (A t m e r (登録商標) 1 2 9、C r o d a によって販売される) のブレンド、前記パーセント量は、前記ポリオレフィン組成物の総重量を基準とする；

顔料：二酸化チタン T i - P u r e (登録商標) R - 1 0 4、D u P o n t によって販売される。